



# CHAPTER 19

## ユーザの削除

---

Cisco Unified Communications Manager ディレクトリのユーザ グループは削除できます。既存のユーザ レコードは、次の 2 つの方法のいずれかによって検索できます。

- 「クエリーを使用したユーザの削除」 (P.19-1)
- 「カスタム ファイルを使用したユーザの削除」 (P.19-2)

## クエリーを使用したユーザの削除

クエリー フィルタを作成してユーザ レコードを検索し、ユーザを削除する手順は、次のとおりです。

### 手順

ユーザ レコードを検索するためのクエリーを作成してユーザを削除する手順は、次のとおりです。

**ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの削除 (Delete Users)] > [クエリー (Query)] の順に選択します。

[ユーザの削除 (Delete Users Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 最初の [検索対象: ユーザ、検索条件 (Find User where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [ユーザ ID (User ID)]
- [名 (First Name)]
- [ミドルネーム (Middle Name)]
- [姓 (Last Name)]
- [マネージャ (Manager)]
- [部署名 (Department Name)]

2 番目の [検索対象: ユーザ、検索条件 (Find User where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。

- [が次の文字列で始まる (begins with)]
- [が次の文字列を含む (contains)]
- [が次の文字列と等しい (is exactly)]
- [が次の文字列で終わる (ends with)]

- [ が空である (is empty)]
- [ が空ではない (is not empty)]

**ステップ 3** 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**ヒント** データベースに登録されているすべてのユーザを検索するには、検索テキストを入力せずに [検索 (Find)] をクリックします。

**ステップ 4** クエリーをさらに定義する場合や、複数のフィルタを追加する場合は、[絞り込み (Search With)] チェックボックスをオンにし、ドロップダウン ボックスから [AND] または [OR] を選択して、ステップ 2 ~ 3 を繰り返します。

**ステップ 5** [検索 (Find)] をクリックします。

検索されたテンプレートのリストが、次の項目別に表示されます。

- [ ユーザ ID (User ID)]
- [ 名 (First Name)]
- [ ミドルネーム (Middle Name)]
- [ 姓 (Last Name)]
- [ マネージャ (Manager)]
- [ 部署名 (Department Name)]
- [LDAP 同期状態 (LDAP Sync Status)]

**ステップ 6** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。

**ステップ 7** ユーザ レコードを即座に削除するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。ユーザ レコードを後で削除するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。

**ステップ 8** ユーザ レコードを削除するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。

**ステップ 9** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理 (Bulk Administration)] メイン メニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。

ジョブの詳細については、[第 79 章「ジョブのスケジュール」](#)を参照してください。

ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル \(P.80-3\)](#)」を参照してください。

#### 追加情報

「[関連項目 \(P.19-3\)](#)」を参照してください。

## カスタム ファイルを使用したユーザの削除

テキスト エディタを使用してユーザ ID のカスタム ファイルを作成し、ユーザを検索して削除できます。

#### 始める前に

1. テキスト ファイルを作成し、削除するユーザ ID を 1 行に 1 つずつ指定します。
2. カスタム ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードします。詳細については、[第 2 章「ファイルのアップロードとダウンロード」](#)を参照してください。

カスタム ファイルを使用してユーザを削除する手順は、次のとおりです。



(注) 削除トランザクション用に **bat.xlt** として作成したトランザクション ファイルを挿入またはエクスポートしないでください。代わりに、削除が必要なユーザ レコードの詳細情報が設定されたカスタム ファイルを作成する必要があります。削除トランザクションには、このファイルしか使用しないでください。このカスタム削除ファイルには、ヘッダーを指定する必要があります。ユーザ ID の値を入力します。

### 手順

- ステップ 1** [一括管理(Bulk Administration)] > [ユーザ (Users)] > [ユーザの削除(Delete Users)] > [カスタムファイル(Custom File)] の順に選択します。  
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] の [カスタムファイルの設定に基づいたユーザの削除(Delete Users Based on Custom file Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [削除対象: ユーザ、検索条件(Delete Users where)] ドロップダウン リスト ボックスで、次のいずれかの検索条件を選択します。
  - [ユーザ ID(User ID)]
  - [名 (First Name)]
  - [ミドルネーム (Middle Name)]
  - [姓 (Last Name)]
  - [部署名 (Department)]
- ステップ 3** [カスタムファイル (Custom file)] ドロップダウン リスト ボックスで、カスタム ファイルのファイル名を選択します。
- ステップ 4** クエリーに必要な情報が含まれていることを確認し、[検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** [ジョブ情報 (Job Information)] 領域に、ジョブの説明を入力します。
- ステップ 6** ユーザ レコードを即座に削除するには、[今すぐ実行 (Run Immediately)] オプション ボタンをクリックします。ユーザ レコードを後で削除するには、[後で実行 (Run Later)] をクリックします。
- ステップ 7** ユーザ レコードを削除するジョブを作成するには、[送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 8** このジョブのスケジュールやアクティブ化を行うには、[一括管理 (Bulk Administration)] メインメニューの [ジョブスケジューラ (Job Scheduler)] オプションを使用します。  
ジョブの詳細については、[第 79 章「ジョブのスケジュール」](#) を参照してください。  
ログ ファイルの詳細については、「[BAT ログ ファイル](#)」(P.80-3) を参照してください。

### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.19-3) を参照してください。

## 関連項目

- 「[クエリーを使用したユーザの削除](#)」(P.19-1)
- 「[カスタム ファイルを使用したユーザの削除](#)」(P.19-2)

